

スキルインフォメーションズ株式会社

組み込みソフトウェアと医療関連の独自製品で成長



海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドインジャパン
試作可小ロット

リハビリ効果を「見える化」した体の可動域測定システム装置「モーションメジャー」

業務内容

組み込みソフト需要が減少、医療関連で新事業伸ばす

ソフトウェア技術者だった杉本浩社長らが独立し、設立した。高速道路の渋滞情報や信号制御、紙幣判別向けなどのソフトで成長してきた。しかし、主力の家電やAV向けのソフト需要が、ものづくりの海外生産拡大で減少。自社製品を手がけたいと一念発起し、平成23年に成長産業と見込んだ医療関連分野へ進出した。リハビリ患者の身体改善をセンサーで自動計測・評価できるシステム、患者がモニターの指示を受けながらリハビリできるシステムも開発中である。そのほかOEM（相手先ブランド生産）で医療メーカーの計測機器も手がける。

強み

モーションメジャーと半身まひ患者用システムを開発

ソフトや通信制御の開発で蓄積してきたノウハウを生かしたリハビリ支援システムが得意。「モーションメジャー」は体に装着したセンサーで腕上げの角度データを正確に測りタブレット端末に送信し、患者の訓練動画とともに端末にグラフで視覚的に表示する。患者はリハビリの成果を正しく評価できる。一方、モニターに表示した訓練指示を見ながら、半身まひの患者でも独りでリハビリできるシステムも開発している。リハビリを担う理学療法士の業務低減を目指している。現場のニ



片まひ患者向けのリハビリ運動支援システム

事業拡大

医療機器のリハビリ判定システムや模擬骨にも挑戦

ズをくみ取って開発し、リハビリ拠点や整形外科に提案していく。杉本社長は「リハビリ支援システムに続き、医療機器にも進出したい」と意欲を示す。そのひとつは、手術後の体の動きをセンサーで測定し、運動学的復元状態を判定できる自動システム。1mm以下の微細な動きも正確に測り、手術のより詳細な成績解析のために適切な判定ができる。モーションメジャーの開発で人脈を築いた在阪の国立医科大学と共同開発しており、これまでに85例の臨床試験を実施した。そのほかにも、医学生や医師が骨を削ったり穴を開けたりする訓練用の「人工骨」を3Dプリンターで製造する技術開発にも着手している。

今後の展望

府内の中小企業と連携しOSAKAブランドを世界へ

リハビリをはじめ医療関連事業は成長し、売上高の60%を占める。杉本社長は「これから製品をバージョンアップするには、より軽く、小型、安価でなければならぬ。こうしたものづくりで協力してもらえれば大阪府内の企業と連携したい」と希望を語る。これまで試作をする場合、外部から高価な機器も買わざるを得ず、例えばヘッドセットでは数十万円もかかる場合がある。近い地域で、一緒に製品化できる府内の中小のものづくり企業を求めている。海外も視野に「OSAKAブランドを世界に売っていきたい」と、夢を膨らませる。

COMPANY PROFILE

スキルインフォメーションズ株式会社

大阪27

当社の歴史

通信・制御のスペシャリストとして創業し、豊かな社会の実現を使命に、組み込みシステムの開発技術を中心に事業をしてきました。AV家電向けの開発からスタートし、現在は社会インフラや環境機器向けのシステム開発から医療機関向けシステム開発まで、幅広く手がけています。

中小企業の課題を解決するITシステムや、人体動作センシングによる医療現場の支援製品も開発しています。

代表取締役社長 杉本 浩さん



■主な事業内容

業務用システム受託開発、
組み込みソフトウェア開発、
医療機器開発

■主な取引先（納入先）

電機器械・電子機器・
医療機器の各メーカー、
医療機関、自治体

住所／〒533-0033
大阪市東淀川区
東中島1-17-26
TEL／06-6320-4199
FAX／06-6320-4198
創業／昭和61年4月
設立／昭和61年4月
資本金／9,500万円
従業員／49名

<http://www.sic-net.co.jp/>